

熟睡出来ずにいたある日の早朝の出来事

梅田 富雄（化工会）

最近、我を忘れて熟睡することもなくなり、寝る前に何かのことが気になっていることが夢のような形で朝早く、時には夜中に、その気懸りなことについてあれこれ考える事態が生じる。

昨日の話として、朝方 5 時ごろに前日に機械学習、特にディープラーニングについて解説書を読み、教師付きの学習プロセスについて、かつてプロセスの最適設計に適用していたコンプレックス法を使ってニューラルネットワークの学習プロセスで重みを独立変数として現実のデータと教師が提示するデータの差の 2 乗を最小化することに使えないか、と考えていた。

折しも NHK FM で尾上右近さんの放送番組で悩み相談がなされているところが聴こえてきた。ある質問者は、歌の稽古の仕方に関するうまい方法がないか、と聞いていた。その回答は先生が行っていることを繰り返す、いわばマネをすることの繰り返しを推奨していた。もう一人の男性の質問者は、今付き合っている女性の他に最近気にし始めた女性に引かれている意識するようになっている、どうすべきか、と聞いていた。その回答は、後者を大事にしてはどうか、ということであった。

これらの出来事は極当たり前に聞くことが多い事柄であると思うが、もし最近なにかと話題になっている人工知能を応用することにしたらどうなるだろうか、と気になり始めた。

これは少し前までニューラルネットワークの学習プロセスについて考えていたため、これに関連して先の質問と答えを分析することにした。

最初のケースは、歌番組ですでに適用されていると思われる、歌っている内容のスペクトルをカラオケで評価に使っているらしいことと関連付けて、画像データ処理の適用で回答ができることのように思われる。もう一つのケースは、いわば倫理に関わる問題で、人工知能を応用した自動車の自動運転でしばしば取り上げられる自動的な判断に関して事例として 2 通りのケース:一方は子供もう一方は老人のいずれかに突入しなければならないとき、どちらを選択すべきか、という問題である。この二者択一のケースは倫理的な問題で人工知能では答えられない事柄である。このケースと先ほどの情勢の選択問題とは同型であり、人工知能では答えられないことになる。

我が国がデジタル化の推進を目指している Society 5.0 は、実現の暁には多くの事柄がデジタル化されることで社会が豊かになることを狙っているが、これまで述べたようなケースが数多く出現するかもしれないと考え、本当に幸せになれるか、と気になる次第である。年を重ねて熟睡し難くなっている今日この頃、昔の熟睡していたころが懐かしく思い出される。(2019-11-2)